

# 「宗教の説明：宗教思想の進化的起源」のレビュー(Religion Explained: the evolutionary origins of religious thought) by Pascal Boyer (2002) (2019年のレビュー改訂)

Michael Starks

## 抽象

p 135 または 326 に関するこの本の簡単な要約を取得できます。進化心理学をスピードアップしていない場合は、まずタイトルにこの用語を持つ数多くの最近のテキストのいずれかを読む必要があります。最高の一つは、バスによって「進化心理学のハンドブック」第2<sup>nd</sup> ed です。約15年前まで、行動の説明は、実際には精神的なプロセスの説明ではなく、人々が何をしたのか、何を言ったかについてのあいまいでほとんど役に立たない記述であり、その理由を洞察していません。私たちは、人々がイベントを記念して集まり、神を賞賛し、彼の(または彼女または彼らの)祝福を受け取るというかもしれません。しかし、これはいずれも関連する精神的プロセスを記述していないので、リンゴをリリースしたためにリンゴが地面に落ちる理由を説明するのとほぼ同じ方法で説明していると言えるかもしれません。この本は、アカデミア、宗教、政治、一般の人々によってほとんど普遍的に無視され、否定されてきた人間の行動の遺伝的基盤の解明を続けています(ピンカーの優れた本「ブランクスラテ」を参照)。彼の声明(p3)は、宗教が遺伝的であるかどうかを尋ねるのは無意味であり、あらゆる行動の 遺伝子や環境に起因する行動の変動の割合が、他のすべての行動(例えば、ピンカーを参照)と同様に研究することができると誤解されている。彼は、最も興味深い現象であり、知的で教育を受けた人々にとって個人的な関心の宗教の唯一の部分である、より高い意識(例えば、サトリ、啓蒙など)を全く扱わないので、タイトルは「原始宗教のいくつかの側面を説明する予備的な試み」であるべきです。この本全体を読んで、あなたはそのようなことが存在するとは決して推測しないでください。同様に、麻薬と宗教の巨大な分野のために。それは合理性のための枠組みを欠き、今とても生産的である思考ビューの二重システムについては言及していません。thは私自身の最近の論文を提案しています。それにもかかわらず、その本は興味を持っており、日付が付いているにもかかわらず、まだ読む価値がある。

現代の2つのシス・エムスの見解から人間の行動のための包括的な最新の枠組みを望む人は、私の著書「ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サールの第2回(2019)における哲学、心理学、ミンと言語の論理的構造」を参照することができます。私の著作の多くにご興味がある人は、運命の惑星における「話す猿--哲学、心理学、科学、宗教、政治—記事とレビュー2006-2019 第3回(2019)」と21世紀4日(2019年)の自殺ユートピア妄想<sup>st</sup>世紀 4<sup>th</sup> ed (2019)などを見ることができます。

「神は死んで、人間は自由である」ニーチェ

「まさにこの体仏、このまさに地球蓮の樂園」オシヨ

私は、何も話さないで、教義がない宗教をよく想像することができます。明らかに、宗教の本質は、言える意味とは何の関係もない

本書が登場したときは、先駆的な取り組みでしたが、今ではこのトピックの議論が無限に行われているので、専門家だけが読む必要があるという十分に詳細で正確な要約を述べてもらいます。p 135 または 326 に関するこの本の簡単な要約を取得できます。進化心理学をスピードアップしていない場合は、最初にタイトルにthisという用語を持つ数多くの最近のテキストの1つを読む必要があります。最高の「進化心理学のハンドブック」第<sup>nd</sup>2版(2015年)とバスによる進化心理学の第5版は、ネット上ですぐに無料で入手できます。<sup>th</sup>

約15年前まで、'説明'の行動は、実際には精神的なプロセスの説明ではなく、人々が何をしたか、そして彼らが言ったかについての曖昧でほとんど役に立たない記述であり、その理由についての洞察はありません。イベントを記念して人々が集まり、神を育て、祝福を受け取ることはありませんが、関連する精神的プロセスを説明するものはないので、'リンゴを'解放し、重い理由で地面に落ちる理由を説明するのとほぼ同じ方法で説明していると言えるかもしれません。

この本は、アカデミア、宗教、政治、一般の人々によってほとんど非公然と無視され、否定されてきた人間の行動の遺伝的基盤の解明を続けています(ピンカーの優れた本「ブランクスレート」を参照)。彼の声明(p3)は、宗教が遺伝的であるかどうかを尋ねるのは無意味であり、遺伝子や環境に起因するあらゆる行動の変動の割合が、他のすべての行動(例えば、ピンカーを参照)と同様に研究することができるかと誤解されている。

彼は、21世紀の知的で教育を受けた人々にとって最も興味深い現象であり、個人的な関心のある宗教の唯一の部分である、より高い意識(例えば、サトリ、啓蒙など)を全く扱わないので、原始宗教のいくつかの側面を説明する予備的な試みであるべきです。この本全体を読んで、あなたはそのようなことが存在するとは決して推測しないでしょう。同様に、麻薬と宗教の巨大な分野のために。どのように、なぜ内線源は推論エンジンを引き起こし、彼らは過去100万年間の宗教と生活の中でどのような役割を果たしてきたのでしょうか?薬物や行動テンプレートに関する膨大な情報がありますが、ここでも手がかりを見つけることができません。最近の著書『Entheogensと宗教の未来』と「仏教とサイケデリック」から始めたり、ほぼすべてのように、利用可能、友人のアレクサンダー・シュルギンのPHIKALとTIKALの認知テンプレートの驚くべき調査を読むことができます。薬物プローブの中で最も珍しいのはケタミンで、特にアルトゥーニアンとムーアの「明るい世界への旅」、ヤンセン「ケタミン」、そしておそらくジョン・リリーの最後の2章の単一のユーザーによる単一のentheogenic薬の最も詳細な説明で説明されています。リトルリーは、イルカ研究の創設者であるほとんど単独で、多くのトピックでほぼすべての人よりも多くの世代以上先行しており、LSDと隔離タンクで自分の心を探り出しました。心、神と脳、そしてポイヤヤーが触れていない精神的、精神的な彼の推測については、彼の「神のシミュレーション」(1975年と私のレビュー)を参照してください。また、最近のエンテオゲンによる英雄的な自己療法については、スラテリーによる「[異種言語学](#)」とカーンのDMT&マイ・オカルト・マインドを参照してください。

また、心身の状態と心の状態の関係についても、事実上何もありません。ヨガの多くの形態の練習は、数千年前に高度に進んでいた。その主な目的は、体のエネルギーと逆に精神的な状態を引き起こすことでした。巨大な文学があり、何億人もの人々がそれを実践してきました。私が知っている最も優れた個人アカウントは、ヨーガを介して心身の相互作用を詳述する神秘的なAdi Daの「リスニングの膝」にあります(私のレビューを参照)。彼の精神的な進歩の呪文的な説明と織り交ぜられたヨガのシャクティエネルギーとの彼の仕事の詳細です(例えば、p95-9、214-21、249,281-3、1995年版の439-40 - 後のものよりも好ましい)。あなたがスピリチュアリティの心/身体関係の中心に到達したい場合は、これらの数ページは、ヨガの本の全体の棚以上の価値があります。

禅や他のプラクティスは、瞑想やトリックで脳のテンプレートをプローブします。ポイヤヤーは、主要な宗教(そして無数のマイナーなもの)が、その型を壊した人々によって始められたことを理解していない—すなわち、何らかの形で自我の多くを破壊し、自分の心の側面を発見するために、いくつかのテンプレートをブロックまたは回避した。本格的な悟りが珍しい理由を見るのは難しいことではありませんが、それを持っている人は猿のように振る舞うのをやめます(すなわち、戦い、欺き、再生、蓄積)、これは大きく選択されます。それを達成した人は、完全に人間になった唯一の人であると言うかもしれません(すなわち、イエス、アディダ、モハメッド、仏、マハビラ、ルミ、オショと私たちが知っている1000人ほど)。ポイヤヤーは瞑想、エンテオゲン、より高い意識(例えば、317、320-324ページを参照)の個人的な経験を持っていないようですので、彼は明らかにすべての宗教を扱いません。彼は宗教は、彼が正確にこれを提供として好奇心が強い起源や明確な説明がないと言うとき、これは再び明らかです(p32)。もちろん、これはある意味で彼が議論する原始的な宗教の意味では当てはまりますが、仏教、キリスト教、イスラム教などは、イエス、仏、モハメッドなどの悟りに非常に明確な起源と説明を持っています。彼は、東洋の宗教は主に個人的な経験や内なる国家ではなく儀式に関するものであり、西洋哲学(3000年前)からそのような考えを得たという彼の信念に間違っています(p308)。

驚くべきことに、彼は宗教は、その後大衆によって劣化している例外的な個人の経験の結果であるというウィリアム・ジェームズの考えを拒絶します(p310)。ジェームズは明らかに正しく、ポイヤヤーは再び原始的な宗教だけを考えています。おそらく、サマディ、悟りなどの様々な状態の最高の個人的なアカウントは、アディ・ダの本です - 「リスニングの膝」が、啓発されたマスターによる個人的なアカウントのための最良のソースは、Oshoの数多くの本、オーディオ、ビデオです。

思考を目の当たりにすることは、多くの異なる伝統の中で瞑想を始める最も一般的なテクニックの1つです。さらなる進歩は知覚と知覚を融合させる(すべてが1つ)。これはテンプレートとどのように関連しているのか不思議に思う—彼らは意識に入るのか、霊的な変化は新しい神経のつながりを開くか、それともいくつか閉じるのか。認知心理学はこれにほとんど始まらないが、良いコントロールを持つサマディ状態の啓発された人や1人にPETまたはfMRIを見ることは興味深いだろう。彼は多くの経験がいくつかのエージェントであるというのは正しいですが、高度な状

態は、彼らが通常、考え、心、人、神を持っていないことを示す広大な文献に記載されています。これは、機能的な人の中でシステム2テンプレートを分離する究極のようです。

超自然的な種類の宗教的概念が進化し、生き残るためには、脳が知覚と思考を整理するために使用する基本的な腫瘍学的カテゴリーまたはテンプレート(植物、道具、自然の物体、動物、人など)の1つに属する必要があります。これらは、一般的に、前科学、電話エパシー、不死、言葉を聞いたり、自分の考えを読んだりするアビリニティ、大きな力を癒したり、与えたりする能力などの直観に反する特性を与えられています。良い超自然的な概念は、通常、直観の違反によって特に禁じられていないすべての推論を可能にする-すなわち、神はすべての人間の特性を持つが、年齢や死をしない。膨大な数の宗教的概念は、このテンプレートの短いリストに含まれています。それは、彼らが覚えていて、他の人に伝えることを容易にする概念の直感的な性質であり、これは超自然的な概念がほぼすべての宗教の中心的な部分である理由の一つにあるようです。超自然的な概念は、直感的な心理学、直感的な物理学、構造関数、ゴール検出などの他のタイプのテンプレートと相互作用します。それは物理学、目標検出、直感的な心理学と意図的な使用を活性化する場合、それは超人的な特性を持つ人間のような存在になります。これは標準的な認知心理学であり、直観に反する部分は宗教的な使用のために追加されます。私たちが何かをしたときに活性化される脳領域は、他の誰かが同様のことをしているのを見たときにも活性化されるという豊富な証拠があります(ミラーニューロン)。これは、社会(スポーツ、政治、音楽など)や宗教に不可欠な儀式に参加する必要性と満足感と関連していることも実現可能です。

他の人の感情を見ることは、私たち自身と同じ領域を活性化するという証拠もあります。私たちの心の理論(すなわち、他の人々の精神的な生活の、つまり、私がエージェンシー-UAの理解と呼ぶのが好む直感的な心理学)は、1つの推論エンジンではないようですが、多くの合計が、より多くの研究が行われるにつれて、より多くのモジュールが発見されます。推論エンジンのもう1つの重要な特徴は、過去または未来を考慮しながら、しばしば分離モード(反事実または虚数)モードで実行されることです。これは、子供の想像上の遊び相手の共通の存在、物語やテレビを把握する能力によって示されるように非常に早く始まり、彼は研究が遊び相手を作成する子供たちが他の人の精神状態や感情を把握するのが得意であるように見えることを示しているようだと言っています。この文脈のポイントは、霊、幽霊、神々などに人間のような特徴を帰属させるのは非常に自然に思える実際の証拠がまったくない場合ということです。

自然推論エンジンは、高速で気をそらさない必要があるため自動的に動作します(つまり、システム1ですが、悲しいことに、彼はここで2つのシステムフレームワークを使用していません。心は説明機として進化しておらず、最近の科学の台頭の前に、私たちが歩くときに足が動く理由、リンゴが地面に落ちる、空腹や怒りを得る理由、またはなぜ私たちが経験したり何かをするのかを説明しようとしなかった。稲妻や日の出のような奇妙な出来事や宇宙的な出来事だけが原因を必要としました。私たちの直感的な心理学と代理店のテンプレートはまた、いくつかのエージェントに良いと不運を引き起こすように私たちを促しました。この多くは投機的に聞こえるかもしれませんが、EP(進化心理学)が主要なパラダイムである今、幼児期と幼児期におけるそのような先天的なS1機能の証拠は急速に高まっています。

超自然的なエージェント(亡くなった先祖を含む)は、直感的な心理学によって意図的なエージェントとして、社会的交流システム(コスト/利益システムの一部または変種)によって道徳的行動の証人として、そして個人としての人ファイルシステムによって扱われます。これらのシステムはすべて分離モードで動作できるため、これらのエージェントが実際に存在するかどうかを考慮する必要はありません。彼らは関連性、結果として生じる推論の豊かさ、そして彼らが記憶され、伝えることができる容易さによって駆動されます。テンプレートは、情報を収集し、協力を得て、非常に迅速で潜在意識的で通常はエラーのない方法で利益を計算するように高度に調整されていますが、意識的な理由は遅く、落ちる可能性があります。現代では、エゴは個人的な利益のために他人を欺き、操作しようとする無限の試みで、議論、説明、解釈に無駄にする時間があります。大規模なモバイル人口と迅速なコミュニケーションにより、私たちの社会的交流の結果、信頼の評価、詐欺師の検出やその他のテンプレートはしばしば役に立たないと自滅的です。戦略的な情報(関連性フィルタを通過する)は、社会的相互作用に関連するエンジンを活性化し、他の人が持っている情報に関する私たちの知識は、社会的な心の重要な部分です。超自然的なエージェントは、通常、完璧な知識を持っています。彼はそれを言及していないようですが、強力な人々はしばしば超自然的なエージェントの特徴のいくつかを持つようになったので、人々は神々に関して彼らに反応し始めるでしょう。エイリアン、UFO、新しい時代の神秘主義、占星術、ファンタジー、SFは活性化のために大きな注目を集め、しばしば戦略的な情報を持つエージェントを所有しています。しかし、何億人もの人々が、彼らの死(ワコ、共産主義、ナチズム、ベトナム、ジョーンズタウン、ジョージブッシュ、カハウテック彗星など)に対する偽の戦略的情報(すなわち、準超自然的なエージェント)を持つカリスマ的指導者を追ってきました。

社会的な相互作用には、社会的な心、すなわちそれらを組織する精神的なシステムが必要です。ほとんどの動作と同様に、この処理を行うには組み込みメカニズムが必要だと一般的に認識したのはごく最近の作業です。戦略的情報は、社会的な心を活性化するものは何でもです。私たちの心の理論(UA)は、この情報も利用可能なエージェントに教えてくれます。超自然的なエージェントに、通常は部分的または完全に利用できない情報に完全にアクセスする機能を持つ一般的です。

トリビアによって常にアクティブ化されないように、すべてのエンジンに何らかの関連性フィルタが必要です。私たちは、現在、システム1(S1)と呼ばれる世界の彼らの行動や特性に関連する方法で物事をグループ化する方法を教えてください。分類法を持っており、その後、時間があるときに、より最近進化したゆっくりとした意図的言語システム2(S2)を使用しています。私たちは、大きな歯と爪を持つ大きな猫のようなものは捕食者であり、草食動物ではないことを期待しています。霊は人間の分類に合い、自動的にニーズと欲望、好き嫌いを持っているので、報酬と罰を与え、すべての文化はこれらが何であるかを指定することです。最小の労力で最も豊かな推論を与えるこれらの概念は、S1に選択されています。

共通の視点は、関連性理論によって与えられ、なぜいくつかの概念(すなわち、システム2の言語ゲーム)がより容易に送信されるのかを決定しようとする。おそらく、エンジン(S1のコンセプト)をより激しく、または頻繁に、またはより異なるエンジンを引き起こす概念が優れているでしょう。だから、私たちは、彼らが意味をなさないか、他のものよりも何らかの方法で有用であるのではなく、覚えて適用する方が簡単more 多くの言語ゲームを持っているかもしれません。これは、恣意的または愚かな、あるいは生活をより困難にし、宗教だけでなく、すべての文化に適用される多くの概念や慣習の存在を説明するのに役立つかもしれません。

ほぼすべての宗教は、完全なアクセスエージェントを持っています - すなわち、彼らは私たちについてすべてまたはほとんどすべてを知っていて、Boyerは3つのクラスを区別します - ほとんどまたは全くアクセスできないが、それにもかかわらず、すべてを知っているアクイナスエージェントとすべての戦略的または重要な情報へのアクセス権を持っている完全な戦略的エージェント。これは、他人の宗教的な考えを知ることや、他の人の考えを私たちの考えに変換することに興味を持っているのではないかと言います。このようにしてのみ、私たちは彼らがどのように振る舞い、相互作用するかを理解することができます。

私たちの社会的相互作用を認識し、影響を与えることができるエージェントは、推論が豊かであり、精神的に表現し、覚えやすく、文化的な伝達に大きな利点を享受しています。このように、宗教は道徳を創造したり支持したりするのではなく、道徳的直感(すなわちS1の高速自動言語学的前言語的精神反射)で構築された宗教がもっともらしく有用であると言えるようになりました。同様に、善運と不運を説明するメカニズムは、超自然的なエージェントとのつながりを簡単にします。そして、私たちは道徳的なシステムと私たちの情報提供を彼らと共有しているので、彼らが私たちの態度を強制することを期待するのは当然です。

相互的な! 自明主義と不正行為は、人間の行動の中心的な部分です。本物(偽造が難しい)情熱的な感情と正直さを示すためには、大きな社会的(そして遺伝的)価値があります。これは、彼らの考えを変えたり、推論エンジンが彼らの最善の利益であると計算するたびにカンニングすることができる合理的な電卓ではなく、そのような人と協力することを選択するように宗教によって強化することができます。このシステムはまた、不正行為が最小限の社会的コストを持っている場合でも、詐欺師が処罰されることを必要とします。宗教的概念の一般的なグループの1つは、不正行為を不道徳にするグループです。メカニズムは感情(例えば、怒りの急速なS1反射神経、嫉妬、恨み、混乱)ではなく、S2の遅い合理的な高さである。これは奇妙に聞こえるかもしれませんが、サルだけでなく下の動物にも示されています。はい、現代社会で不正行為の無限の精巧さがありますが、すべての私たちの行動のように、それは遺伝学とS1の上に構築されています。私たちは、誰かが座って考える必要があるのではなく、他人のお金を盗むのは間違っていると感じています - もし彼がそのお金を取るならば、多分彼は私のものを取るか、彼は私の上に行くか、将来の利点を持つでしょう。おそらくここには、不正行為の社会的(遺伝的に)破壊的な慣行をあまり魅力的にするために罪悪感が入る1つの場所があります。これは、詐欺師や協力者、タカや鳩やふりをし、相互利他主義とゲーム理論に関する巨大な文学に私たちを取ります。ウィルソンの「地球の社会的征服」のレビューで詳述したように、「真の利他主義」またはグループ選択は明らかにファンタジーであることを覚えておいてください。だから、すべての行動と同様に、宗教は個人の生存価値を持っていたので進化しました。

多くのタイプのコミットメントガジェットは、評判、法的または準法的なバインド(契約)、強い情熱、強迫的な正直さ、怒り、詐欺師を処罰する必要性を追跡する協力を確保する傾向がある進化しました。道徳的な直感、罪悪感、誇り、感謝、敵意など、協力ガジェットも組み込まれています。道徳的リアリズム(行動自体は人の視点に依存しない特定の道徳的価値を持つ)は、大人によってのみ開発されるか、または宗教によって与えられているというほぼ普

遍的な考えとは対照的に、これは3歳と4歳で現れ、年齢とともにほとんど変化しないことが明らかになりました。幼児を研究する方法が開発され、2007年後半に彼らは非ヘルパーオブジェクトとヘルパーを区別できることを示した研究がネイチャーに登場し、それ以来、人間や他の動物に多くの仕事がありました。もちろん、直感的な道徳は、多くの文脈で私たちのS1反射神経のすべてのように、現代の世界の大人のための間違っただけの結果を与えることが多いです。

以前は文化とみなされていたものの基本のほとんどは、現在、継承することが知られているか、疑われています。ピンカーは、普遍的で良い候補者である人間社会の何百もの異なる側面をリストアップしています。私たちが教える必要がない宗教的概念の非常に長いリストをまとめることができず--霊は人間の考え、感情と意図を理解し、願いやイメージと現実などを区別します。

常に神や霊、幽霊などに投影される人間の唯一の特徴は、私たち自身と同じように心のようなものです。直感的な心理学は、一般的に意図的なエージェント(すなわち、人、動物、および自らの目標を追求して動くように見えるもの)に適用されます。直感的な物理は、おそらく多くのサブセグメントで構成されており、意図モジュールと接続する必要があります-例えば、ライオンがカモシカを追いかけるとき、ライオンは、おそらくそうするでしょう。そのような薬剤を検出することは非常に古代の進化の優先事項であり、5億年前でさえそのような遺伝子を欠いた三葉虫はすぐに昼食になると予想するでしょう。より多くの行動遺伝子がマッピングされるにつれて、私たちは、身体のセグメンテーションや免疫を制御するもののような他の遺伝子と同じように、フルーツフライの中で同じまたは類似のものを見つけており、この本が登場して以来、この方向に大きな進歩が見られました。ショウジョウバエの行動を検索するだけです。

私たちの他の概念と同様に、宗教的なものはしばしばあいまいであり、彼らは文化の迷走によって詳述されるように推論エンジン(S1)の無意識の機能から生じるという事実のために特異である。簡単な言葉が何を意味するのかさえ正確には言えませんが、その使い方は分かっています。Chomskyが深度文法を発見したように、ヴィトゲンシュタインは深度セマンティクスを発見したと言えるかもしれません。

ヴィトゲンシュタインは、私が高次思考の記述心理学と呼ぶ哲学(そして行動を理解しようとするすべての試み)がまず何よりもまず、意識的思考にアクセスできないこれらの組み込みのS1機能であることを理解した最初の(そしてまだ数少ない)でした。私はそれが述べられているのを見たことはありませんが、彼を認知と進化心理学のパイオニアとみなすのが妥当なようです。

ポイヤーはまた、死の新しいビューを取ります。死体は、私たちの慰めの必要性とは別に、超自然的な概念に関連させる特性を持っており、宗教のこの部分は死体についてよりも死について少ないかもしれません。彼らは、アニメーション、直感的な心理学と人のファイルシステムとの間の解離を生成します。私たちは、自閉症やカプグラス症候群などの奇妙な神経学的状態でこのような解離を見ます。

彼はこれを、文化が非常に関連性の高い顕著なガジェット(イベント、オブジェクトなど)を利用し、推論エンジンの注目を集める別の方法だと考えています。そして、この本が登場して以来、遺伝子がこれまで想像していたほとんどの人(学者を含む)よりもはるかに大きな範囲で文化を作り出すという証拠が蓄積し続けています。独自のフィールド(暗黙の認知)があります。

誰も私たちに落ちて当たる岩が私たちに当たる場合、動機について問い合わせることを考えることはありませんが、それが人の手から来る場合、私たちは常に行きます。非常に幼い子供でさえ、その直感的な心理学、代理店、アニメーションや他のエンジンのために、これを知っています。これらのエンジン(遺伝子、反射的挙動)は、その組織形態では、数億年前のものでなければなりません。炭化物時代のトンボは、アニメーションと無生物の物体を区別し、獲物の軌道を計算しました。

宗教はもともと永遠の恐怖の雰囲気の中で働いていました。推論エンジンは、仲間や食料や避難所を見つけ、死を避けるために進化したので、無力なサブリカントとしての神々へのアプローチと、(私たちが人にするように)安らぎの儀式や提供物の使用。私たちの危険回避は、銃、麻薬、高速輸送(車、スキー)のために現代の世界では非常に不完全です。世界中のどこでも、少なくとも年間100万台が走り詰め込まれているにもかかわらず、スピード違反の車両から一歩離れた街を歩いたり自転車に乗ったりしている人を見ることができます。

彼は、ミーム(遺伝子の有名な文化的類似体)は、アイデアが一人一人によって変わる一方で、遺伝子は同じままであるため、文化的伝達のための非常に良い概念ではないと言います。しかし、メディア、すなわち、フィルム、テレ

び、印刷物、電子メールはどうでしょうか? 彼らは遺伝子よりも正確に複製することができます。これらは今、誰かが言うことだけでなく、ミームの妥当性を送信し、チェックするための主要な手段です。いずれにせよ、遺伝子も完璧ではありません。遺伝子型に対応する表現型があるのと同様に、ミームに対応するフェーンがある。

なぜ我々は善と不運のために超自然的なエージェントを呼び出すのですか? 彼らは私たちの社会交流システムを活性化し、我々はそれらを戦略的な情報を持っていると考えるので、彼らは何が起こるかを制御することができます。

これを受け入れる人は誰でも自動的に社会的なやり取りやその他のテンプレートを拒否し、常にカンニングをすると感じるので、おそらく行動のための遺伝的説明に対して非常に大きな反対がある可能性があります。あるいは、直感的な心理学がもはや機能しなくなるのではないかと恐れているのかもしれませんが。そして、それは現象学的錯覚(私たちの行動は意識的な決定によるものであるという幻想的な感覚-私の他の著作を見る)に彼らの注意を呼びかけます。

社会の儀式は、心理学者が予防規則と呼んでいるものの例であり、これらは一般的に汚染、浄化の儀式(伝染システムの活性化)、接触回避、特別なタイプの接触、境界と閾値への特別な注意、ルール違反、特定の数の明るい色の使用、対称的な配列と正確なパターン、特別な音や音楽、特別な音や音楽、特別なダンスやその他の動きなどに関する懸念を含みます。これらのすべては、テンプレートの特定のグループをトリガし、満足のいく感情を作成し、一般的に宗教的な概念に結合され、政治、スポーツ、狩猟と農業、結婚、子育て、音楽、芸術、民俗学、文学など。

機関検出システム(例えば、捕食者および獲物検出)は、過剰検出のために偏っている、すなわち、ライオンや活性化する人を見る必要はないが、フットプリントまたは適切な種類の音のみを見る必要がある。非常に少ない情報に基づいて、これらのシステムは、エージェントの性質と意図についての感情d期待を生成します。超自然的な機関の場合、私たちの直感的な心理学テンプレートも活性化され、一般的に人のようなエンティティと直感に反する機能を生成しますが、その正確な特性は一般的にあいまいなままです。

直観に反するタグ(例えば、死者から立ち上がる)をエージェント(例えば、イエス)または他のトポロジカルカテゴリに取り付けることで、覚えやすく、宗教の良い候補になります。

これらのモジュールはすべて継承されていますが、もちろん赤ちゃんは完全に開発されておらず、時間と「通常の」環境でのみ出現します。

私はケン・ウィルバーのセックス、生態学、スピリチュアリティを読む直前にこれを読んで、ウィルバーが議論している作品のほとんどが時代遅れで空っぽであるかをほぼすべてのページで見ることができました。ウィルバーの本の大部分と、彼が宗教、心理学、哲学について分析する何百もの大部分は、今では古風です。しかし、ウィルバーはスピリチュアリティに大きな関心を持つ本をたくさん書いており、ポイヤーが彼を参照していないのは悲しいことですが、彼は彼のインデックスで薬物、ヴィトゲンシュタイン、瞑想、ヨガ、サトリまたは悟りを参照していません!

ノーベル平和賞は、他のアウトグループ、さらには他の国や全世界に連合を拡張することを奨励するのが最善の人々に与えられると言うかもしれません。あるいは、往復する人だけが1つのグループに拘束され、資源へのアクセスを与えられることを要求する「詐欺師検出器」またはソーシャルエクステンジテンプレートをオフにする努力のための賞を得ると言うかもしれません1つのグループに含まれ、アクセス権が付与されています 資源 (世界の貧しい人々のほとんどは明らかにできません)。

彼は、人生のすべてのように宗教の役割を果たす自己欺瞞的な推論の一部の簡単な要約を与える - コンセンサス、偽のコンセンサス、世代効果、記憶錯覚、ソース監視の欠陥、確認バイアスと認知不協和。他のテンプレートと同様に、これらは10万年前に非常に良い結果を出しましたが、高速レーンでの生活で、彼らは今、個人と世界のために致命的な証明することができます。連合的直感と本質概念は、人間の行動の重要な部分として表現されています。人間は自動的にグループを形成し、グループが全く見知らぬ人で構成されている場合でも、グループに入っていない人に敵意を示し、グループ内の人々(連合の直感)に完全に不当な友情を示します。これは、コスト/利益や信頼性の計算などの運用エンジンに関連しています。エッセンスは、連合やその他の社会的カテゴリー(階層や支配など)に対する私たちの感情(直感)を記述するために使用する概念です。これらのメカニズムは小さなグループで進化しましたが、今日では、私たちが密接に関連していない人々と一般的に動作しているので、しばしば誤った結果を与えます。ステレオタイプ化、人種差別、その伴奏(すなわち、任意の(または任意ではない)セットの区別)は、ステレオタイプ化がn s2心理的機能であり、排除、優位性、反感を持つ連合が結果であるのではなく、おそらく私たちの脳に組

み込まれた連立直感の操作の結果nS2です。これらのエンジンは、社会を形成し、導く「社会的魔法」を説明するかもしれませんが。

彼は、現代社会における連立思考の共通の違反に対する自然な反応として原理主義を説明するかもしれないと示唆している。同じコミュニティ内の他の人に対して直接反対して行動する自由は、多様性と変化に対処するための教育や経験のない人々に強く、しばしば暴力的な感情を生み出します。彼らはしばしば、自分の気持ちを和らげるために、公共の壮大な罰を望んでいます。原理主義は、連合に基づく階層を維持しようとする試みとして、それらが簡単な脱北や不注意によって脅かされているとき、最もよく説明されるかもしれない。これらはすべての人々に常に機能していますが、主に特別な脅威(すなわち現代生活)を生み出す状況がある場合に表面に来ます。もちろん course、いつものように、私たちはすべての行動の究極の源と報いが遺伝子にあることを覚えておいてください。

彼はそれについてほとんど言わないが、そこに固執する腫瘍学的なS1カテゴリとそれらに固執する直感的なタグの概念はまた、魔法、超常現象、民俗学、神話、民間医学、占星術、神学、奇跡の労働者、悪魔と天使の所有、芸術、そして以前は科学の多くを説明するために遠くに行きます。儀式は思考のスネアとして機能します。私たちの伝染テンプレートは、行動の強力な活性化剤であり、宗教に多くの浄化の儀式を含むのは当然です。彼らはまた、強迫性障害で極端な形で見ることができる私たちの計画システムを利用しています。色、空間、境界、動き、接触到夢中です。顕著なガジェットが組み込まれています。私たちは他の人を模倣する強力な必要性を持っています。

儀式は、私たちの検出されていない危険システムを活性化します。目に見えないエージェントへの犠牲の提供は、私たちの社会交換システムを利用しています。私たちの連合的な直感、集団儀式と結婚によって満たされています。一般人の「ナイーブ社会学」は、多くの哲学、社会学、神学、人類学、心理学、経済学、政治にまで及び、私たち自身の行動を理解しようとする試みの結果ですが、これは私たちのテンプレートの自動かつ無意識の楽しみの結びついた結果です。したがって、文化の多くは魔法のように見えます - したがって、「社会的魔法」という用語。必然的に、ナイーブな社会学は弱いので、儀式や信念システムは協力の利点と不正行為や脱北のコストを強調しています。儀式やガジェットは記憶を刺激し、伝染システムを満足させる。参加シグナルの協力と神々と霊は任意です。だから、テンプレートは、逆ではなく、教義につながる宗教につながります。

科学と宗教 (p320) について話し合う際、彼は真剣に迷っていると思います。彼は、宗教を世界の本当の対象として話すのは間違っていると言いますが、もちろん、外部および内部 (精神的) 現象は他の現象と同様に研究することができます、宗教は認知心理学の一種であることをこの本で示しています。彼は科学がないと言い、私たちは彼がそれが複雑であることを意味することを知っていますが、宗教、法律、スポーツ、オートレースなどは全くありません。彼は、宗教が世界をより美しくしたり意味のあるものにしたり、究極の質問に取り組んだりする「ポップ神学」に反対していますが、すべての宗教は究極の質問に取り組み、世界を有意義で醜くしようとします。さらに、私が「高度な宗教」と呼ぶもの、すなわち、イエス、ブッダ、オシヨなどの心の中で始まる方法は、彼がこの本で議論している原始的な宗教とは全く異なる世界を取り入れている (例えば、Oshoworld.comまたはp2pなどで200冊の本とDVDを参照してください)。、またはウィルバー、アディダなどを参照してください。繰り返しますが、p 327では、彼は脳に宗教的な中心がないと考えており、これはおそらく原始的な宗教に当てはまりますが、サトリと悟りの経験とエンテオゲンスの中心 (接続のネットワーク) がある可能性が高いようです。彼はまた、(p321) 科学は宗教よりも自然で難しくないと考えていますが、膨大な数の科学者と、ほぼすべての人が小学校で科学を吸収することができます、おそらく人類の歴史の中で1000人未満の啓発された人物がいるという事実を考慮すると、the 状況が高度な精神性の全く逆であることは明らかです。植物学者や化学者になるのは、エゴを溶かすよりも非常に難しくありません! 自然選択は明らかに高い意識遺伝子を排除するだろうが、科学の合理的な微積分は、資源

を集め、子供を産み出すのとかかなり一致している。もちろんコース、問題は、彼が再び原始的な宗教に固執していることです。

彼は、宗教活動が「私たちの最も強烈な感情を支配し、他の人々との相互作用を形作り、私たちに道徳的な感情を与え、社会集団を組織する」推論システムを活性化すると書いて(p 135)と要約しています。もちろん、これらは、サトリーや悟りとは何の関係もありません!彼は、宗教的な考えは私たちの直感的なオントロジーに寄生していると指摘しています(すなわち、彼らは関連しています)。彼らは進化がすでに作り出した精神的能力のために正常に伝わる。他の行動と同様に、宗教は、すべての推論エンジンの動作の合計という、集合的な関連性の結果です。したがって、宗教的な概念や行動は、それらが必要または有用であるからではなく、簡単に私たちのテンプレートを活性化するので、覚えて送信しやすいので、彼らは時間をかけて生き残ります。彼は「すべての宗教の完全な歴史(これまで)」の最終的な要約(p326)を次のように与えます(もちろん、それは「高度な宗教(精神性、神秘主義)」を省きます)。人々が議論したものの何百万もの中には、私たちの直感に違反するものがあり、これは彼らが覚えて送信しやすくなりました。エージェントに関するものは、捕食者や直感的な心理学など、可能な推論の豊富な領域を活性化するので、特に顕著でした。直観に反する特性を持つエージェント、特に人間の行動や世界を理解し、影響を与える能力が強く伝染した。彼らは死や死者の継続的な存在に対する感情など、他の奇妙でやや直感的な出来事と結びつけました。どういうわけか儀式が発生し、強力な超自然的なエージェントに関連付けられます。一部の人々は、そのような儀式を行い、霊との相互作用を導くのもっと熟練するでしょう。必然的に、彼らはより抽象的なバージョンを作成し、権力と富を獲得し始めます。しかし、人々は宗教について独自の推論を持ち続けるでしょう。

彼は、宗教はおそらく最近の(ホミニド進化の)デカップリング能力の出現に大きく負っており、エンテオゲン性薬物の経験、サトリー、啓蒙をデカップリングの究極と見なすかもしれないと私に起こると指摘しています。進化論のもう一つの重要な転換は、存在領域のレベル(すなわち、植物、人、物事の動きなど)のレベルで直感的な期待の違反を受け入れる能力であると考えられています。彼はこれらの能力が宗教の発明につながると考えていますが(もちろん他の多くの)、仏陀、イエス、オシヨがかなり進んだことは明らかです。彼は、宗教的思考が心をより柔軟でオープンにしたという考えを拒絶する(むしろ、彼らは代理店、準備、道徳、s腹交換、死などの推論を活性化する特定の概念の影響を受けやすくなった)が、何か私たちがentheogens、satori、啓蒙の影響を受けやすくし、これは人々が正気のままにいられるように柔軟でオープンです。だから、スピリチュアリティと宗教について多くのことが発見されたままであり、行動を理解する進歩がこれを引き起こすことを明らかにしています。